

全国高等学校総合文化祭は「文化部のインターハイ」と呼ばれ、芸術文化活動に取り組む高校生が日頃の成果を披露する、高校生最大の文化の祭典です。国内外から高校生約2万人が集い、総合開会式やパレードといった開会行事をはじめ、規定の19部門や開催県が独自に開催する協賛部門で発表、展示、競技、交流等が行われます。

その全国高等学校総合文化祭がこの夏、和歌山県で初めて開催されました。本校太鼓部も県代表として郷土芸能部門大会に出場を果たし、また総合開会式における開催地発表にも出演し、県内の他校生徒とともに和太鼓の演奏を披露しました。

今月の『分校の窓から』は、今大会での太鼓部の活躍を中心にお届けします。

海南高等学校美里分校 マンスリータイムズ

分校の窓から

08
2021

第45回全国高等学校総合文化祭和歌山大会 『紀の国わかやま総文2021』開催

7.31 総合開会式

2年振り通常開催

第45回全国高等学校総合文化祭『紀の国わかやま総文2021』は、「届けよう和の心 若葉が奏でるハーモニー」を大会テーマに、7月31日から8月6日にかけて、県内10市町で22の部門大会が開催されました。

新型コロナ感染拡大の影響により、開催内容の縮小や一般観覧の制限など、多くの制約を受けましたが、各部門とも感染防止対策を講じながら、通常開催にこぎ着けました。

昨年の『2020 こうち総文』は、WEB開

催で実施されましたので、全国の高校生が開催地に集うのは2年振りのことになります。

開催地発表

会期初日となる7月31日（土）、和歌山市の和歌山ビッグホエールで『紀の国わかやま総文2021』の総合開会式が開かれました。

47都道府県の代表生徒が入場する「式典」、国内外の高校生が出演する「交流ステージ」に続いて、第3部では本県生徒による「開催地発表」が披露されました。

約1時間のステージでは、声明、ダンス、マーチング等、高校生によるパフォーマンスが繰り広げられ、和歌山で育まれた生命がたくましく成長し、多くの仲間とともに未来へはばたいていくストーリーが、和歌山の歴史や文化を織り込みながら描かれました。

美里分校太鼓部の生徒もこのステージに出演し、りら創造芸術高等学校、きのかわ支援学校の生徒たちとともに、和太鼓の力強いリズムを会場に響かせました。



8.3 - 5 「紀の国わかやま総文 2021」 郷土芸能部門

8月3日（火）から5日（木）にかけて、和歌山ビッグホエールを会場にして郷土芸能部門大会が開催されました。「和太鼓」と「伝承芸能」の2部門によるコンクール形式で行われ、各部門上位2団体が8月下旬に国立劇場で開催される「全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演」に出場します。

今大会は58団体が出場し、和歌山県からは美里分校とりら創造芸術高等学校の2校が出場しました。本校太鼓部は初日の3日に出演し「朝焼け」を演奏、日頃の成果を披露しました。



関係者の皆様へ

全国高等学校総合文化祭和歌山大会 郷土芸能部門に参加して

残暑厳しい折、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

去る7月31日より約一週間にわたって、和歌山ビッグホエールで開催されました全国高等学校総合文化祭の郷土芸能部門に出場しました。コロナ禍の中、開催が心配されましたが、手指消毒や換気の徹底、パブリックビューイングの設置、そして感染拡大防止対策への多くの方々のご理解とご協力により、全国から58校が集い、レベルの高い発表が繰り広げられました。

そんな中、本校太鼓部は、7月31日の総合開会式、及び8月3日の郷土芸能部門発表会にて演奏を披露しました。

本大会は1年生にとっては初めての、3年生にとっては最後の大きな大会ということもあり、本番の数時間前はそれぞれがやや緊張した面持ちでした。ですがそんな中でも、直前まで綿密に通し練習を行ったり、生徒同士で積極的な声掛けをしたりして士気を高められていたので、非常に良い雰囲気の中で本番に臨めていたと思います。本番の演奏についても、全員が実力を出し切れた内容だったと思います。本番を終えてからは、改善すべき点や良かった点を互いに確認したり、他校の演奏を見てすごいと思ったところを話合ったりするなど、本大会で得たものを次回に生かそうとする姿が見られました。生徒からは「早く学校で練習したい」といった声も聞こえたので、本大会は生徒たちにとって大変良い刺激になったようです。大会全体を通じて、生徒たちの絆がより深まったように感じられました。

この数日間の緊張感と全国大会という大きな舞台、多くの観衆の前で演奏した経験は、たいへん貴重な体験、そして自信として生徒たちの心にいつまでも残ることと思います。

今大会の出場に際しまして、多くの皆様方からご支援、激励を賜りましたこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



紀の国わかやま総文2021 郷土芸能部門

令和3年8月吉日

県立海南高等学校美里分校 太鼓部一同

令和3年8月3日(火)～5日(木) 会場/和歌山ビッグホエール

8.20 学校説明会

美里分校では例年夏期休業中に実施している中学生向け学校説明会が、8月20日（金）に本校の視聴覚教室で行われました。今年は、6校11名の中学生とその保護者・引率教員等、29名の参加がありました。

美里分校に入学した生徒のうち、比較的多くの生徒が中学生の時に、この学校説明会に参加しています。分校の小規模で落ち着いた雰囲気や自然豊かな学習環境に興味を持ち、学校説明会でそれを自分で確かめることがで

きたからかもしれません。今回の参加者も、学校の概要や教育活動、卒業後の進路など、担当教員の説明に熱心に耳を傾けていました。

学校生活の様子は、毎年パワーポイントを使って担当教員が説明していますが、今年は在校生徒に中学生たちの前で説明してもらいました。説明する生徒たちは少し緊張している様子でしたが、中学生には本校生徒の雰囲気を感じてもらえたのではないのでしょうか。

視聴覚教室での説明の後、参加した中学生

は学校施設を見学し、最後は体育館で太鼓部の演奏を聴いてもらいました。

この学校説明会が、参加した中学生の進路選択の参考にできれば幸いです。

なお、美里分校では随時個別の学校見学を受け付けています。学校見学を希望される方は、在籍している学校に相談されるか、直接美里分校までお問い合わせください。

